

一般質問通告書

受領日時 令和8年2月12日 午後3時10分 8番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 「5つの柱・45施策」はどう進捗しているか	<p>(1) 荒川町長が就任時に掲げた「5つの柱」および「45施策」について、昨年の質問では進捗の自己採点を問うた。就任から一定期間が経過した今、改めて現状の達成度をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 現時点での「45施策」全体の点数は何点と認識しているか。また、進捗が遅れている領域とその要因をどのように分析しているか。</p>
2 外部専門人材の成果と今後は	<p>(1) 以前から提言している「外部人材の登用」について、現在の専門家採用の具体的な実績と、それによる組織文化の変化をどう捉えているか。</p> <p>(2) 町長のビジョンを具体的な施策に落とし込み、各課横断で実行を牽引する「政策官（またはブレーン）」の設置について、現在の検討状況は。</p>
3 「情報のタイムラグ」解消に向けたDX活用と子育て環境の改善	<p>(1) 町や小学校・中学校から発信される行事予定などの通知が、開催の直前（前週や数日前）になるケースが散見される。そのため、秋田市など町外へ通勤するパートタイム労働者や共働き世帯にとって、休暇調整が困難であり、課題の声が上がっている。特に1ヶ月前から調整をしないとそもそも予定が合わない保護者もいることから、早急の改善を求めたい。</p> <p>(2) 行事予定の早期開示として、年間・月間の行事予定を、DXを活用して、より早期かつ確実に保護者へ届ける仕組みを構築できないか。</p> <p>(3) 以前提案した「DX推進フェロー」、生成AIの活用状況は。また、現在の役場内における業務効率化はどこまで向上したか。</p>
4 クマ対策の次フェーズ：被害防止から「資源化(ジビエ)」への道筋は	<p>(1) クマの捕獲・駆除後の利活用について、小規模処理施設の整備や地域猟友会との連携、販路開拓の具体的なスケジュールを提示してほしい。また、町としてはどのようにそれらを支援していく予定か。</p> <p>(2) 以前提案した「町内LINEアカウントを活用した即時アラート」などの検討状況は。来年度予算におけるクマ対策の重点領域は何か。</p>

<p>5 教育留学の充実 や放課後の学童充実 について</p>	<p>(1) 当町の教育留学は現在、約2週間となっている。今後、民間団体に委託して参加費用を設定し、生活観光につなげていくことはできないか。稼ぐ町を町長も言及していることから、ふるさと納税のプランにして、予約・申し込み段階から適切な費用を設定することはできないか。</p> <p>(2) 放課後の充実に向けて、町が今後予定していることはなにか。</p>
---	--